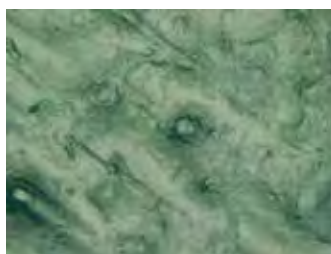


シボ金型の寿命は延ばせる!

あっ、シボのテカリ発見!



シボのテカリを顕微鏡で覗くと...



シボのテカリ 3D 画像

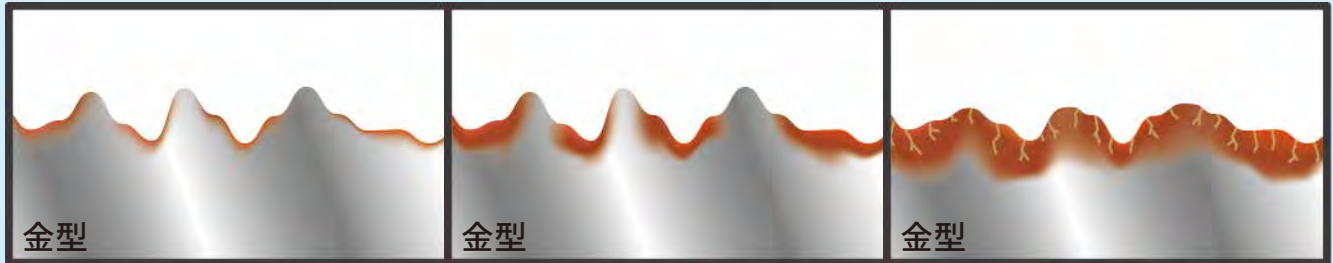
外観品の成形は、キズやテカリが命取りになります。シボ面は手で擦ったり触れることができないので、汚れが固着してくると再シボ加工が必要になります。再シボ加工を繰り返すと、右の写真のように金型寸法が目減りし、成形品が厚くなることで成形不良が発生します。



再シボ加工には、時間の損失や再加工費用が発生し、成形品コストにも影響します。

シボのエッチング剤は酸です

シボ金型が「経年劣化」しやすいのは、シボ面は表面積が広く粗いので、シボ加工時に使用するエッチング剤（酸）が金属組織内に含浸しやすくなっており、さらに酸で元々ダメージを受けているため脆くなっているのです。

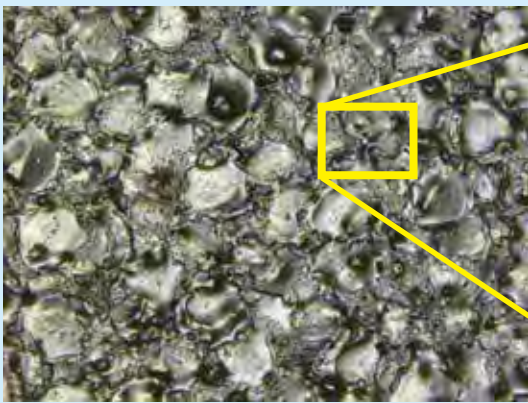


シボの凹部に酸が含浸する

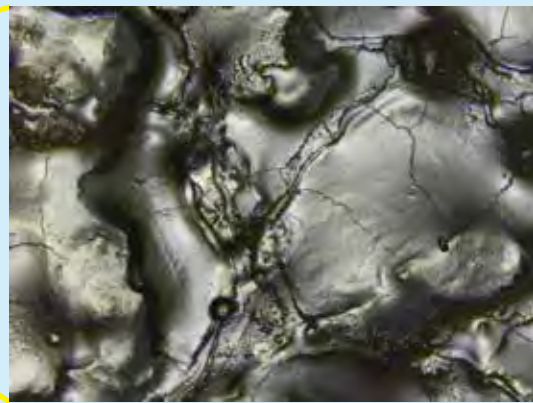
含浸した酸が少しずつ
金型を蝕む

蝕まれた金型が
脆くなっていく

脆くなったシボ面



シボ面を拡大鏡で覗くと…
何か気になる…



顕微鏡で覗くと、
シボ面にクラックを発見



シボ面に汚れが目詰まりすると、汚れに含まれる腐食性物質のフタル酸と化した可塑剤や、元々残留しているエッチング剤の影響で、腐食によりシボ面の凹凸形状の差がなくなりシボ面にテカリが発生しやすくなり、金型寿命に影響します。



お気軽にお問合せください！

クリピカエースなら解決できます！

2014.08



ソマックス 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目7番17号
TEL:06-6976-1108 E-mail:info@somax.co.jp
FAX:06-6977-5702 http://www.somax.co.jp